

埼玉西部経営応援隊 飯能信用金庫との連携

17年度の活動

1. 飯能信用金庫が経営応援隊に参画するまでの経緯

関東IT経営応援隊の重点活動目標は“地域支援コミュニティの形成”であった。

埼玉西部地域で具体的に地域中小・中堅企業支援のための連合体創りに、商工団体や金融機関や建設業協会などに対して応援隊員として参画を働きかけて、コミュニティ形成活動を始めたのは17年3月頃からだった。

当初は‘IT経営応援隊’‘ITコーディネータ’については何処に行っても、全く無知であった。

多くの資料を作成し、回数多く訪問説明を通して、経営応援隊施策の経緯、ミッション、役割を説いて、参加協力を求めて立ち上げたが、まだ十分理解されているとは思えない面がある。

とりわけ、金融機関は経営応援隊という支援機関の連合体の理解や納得にかなり慎重であり、金融機関の対応窓口の担当者は理解、納得されても金庫内での経営幹部(常務理事など)の根回しと了承に非常に多くの時間を要した。

当然の判断ではあるが、対象企業が任意会員組織の商工団体などと違い、地域金融機関は信用第一の企業体であるため、顧客に対する支援の責任意識と経営応援隊へ参画の信頼度の確保が非常に強いためだったと言える。

2. 飯能信用金庫との連携活動

- 1) 地域ブロック8支店の得意先企業向け「経営者研修会(1日コース)」実施・・・15社、17名参加 5支店長、常務理事見学。
- 2) 各支店の中堅得意先担当 50名へ「IT経営の理解と普及セミナー」2時間コース実施。 常務理事計画、企業担当係への認識強化。

18年度の活動計画と目標

1. IT経営に意欲のある企業の掘り起こしとIT経営研修会

IT経営実現企業の掘り起こし

「経営者研修会 1日コース」 8つの支店ブロックで計5回 開催を計画、実施

経営者研修会参加企業へのIT経営支援ニーズ調査、及び要望企業への積極的訪問とヒアリング実施

第2回 得意先企業担当者向け「IT経営の理解と普及セミナー」の実施

2. IT経営を目指す企業への融資促進策と結びついたITコーディネータの支援連携のスキームの計画、実現

3. IT経営実現の成功事例の創出

年商5億円以上、従業員20名以上の経営革新に意欲のある企業の発掘と、IT経営のための経営成熟度診断と提言及びIT利活用の成功企業の実現